

## 木材・森林由来の素材調達ポリシー

### — 古代林を守り、「大切な想いの、すぐそばに。」を未来へつなぐ —

株式会社東京ソワールは、ブランドステートメントである「大切な想いの、すぐそばに。」のもと、人生の節目となる一日に寄り添うモノづくりを続けてきました。

私たちの製品は、お客様一人ひとりの生活のシーンや感情と結びついています。

そのプロダクトを支える素材もまた、長い時間をかけて育まれた、地球の森の恵みです。

いま、気候変動や森林減少、生物多様性の危機が世界的な課題となるなかで、ライフスタイルを担う企業には「つくり方」そのものを見直すことが求められています。

東京ソワールは、こうした社会的背景を踏まえ、木材・森林由来の素材調達において環境と人権に配慮した取り組みを進めるため、森林保全に取り組む国際 NGO「Canopy（キャノピー）」のポリシー・趣旨に賛同します。

本ポリシーは、木材・森林由来のセルロース系繊維など、森林資源に由来する素材の調達に関する当社の考え方を示すものです。

古代林や絶滅の危機に瀕した森林を守るサプライチェーンづくりを、パートナー企業とともに進めていきます。

## ライフスタイルと森林資源をめぐる社会的背景

服飾・テキスタイル製品に用いられる多くのセルロース系繊維（レーヨン、ビスコース、リヨセルなど）は、木材パルプを原料としています。

適切な管理が行われない場合、古代林や高い生物多様性を持つ森林が伐採されるリスクがあります。

一方で、モノを「長く大切に使う」ライフスタイルへの関心が高まり、量よりも「質」や「持続性」を重視する価値観が広がっています。

東京ソワールは、こうした価値観の変化を前向きに受け止め、暮らしに寄り添う製品の提供と、森林資源への負荷低減の両立をめざします。

## 1. 古代林・絶滅危惧森林を利用しない素材調達

東京ソワールは、古代林や絶滅危惧種の生息地、違法伐採と結びつくおそれのある森林から由来するセルロース繊維を使用しないことをめざします。

そのために、次の取り組みを進めます。

- 古代林・絶滅危惧森林・違法伐採に関わる可能性がある原料を調達しないよう努めます。
- サプライヤーとの対話を通じて調達源の把握に努め、不適切なリスクが判明した場合は、是正または取引見直しを検討・実施していきます。
- 森林保全を重視した第三者評価やガイドラインを尊重し、推奨される工場・サプライヤーからの調達を優先するよう努めます。

## 2. 次世代・環境配慮型セルロース繊維への移行

森林資源への負荷を軽減するため、農業残渣（麦わらなど）やリサイクル原料を活用した次世代セルロース繊維など、新しい技術への移行を支援・検討していきます。

- 農業残渣やリサイクル繊維など、森林伐採に依存しない原料の活用を検討・推進していきます。
- クローズドループ型の生産プロセスなど、環境負荷の低い技術を採用するサプライヤーを優先していきます。
- 必要に応じてパイロットテストや共同検証に参加し、私たちの製品群への実装可能性を探ります。

暮らしに寄り添うアイテムに求められる「心地よさ」「美しさ」「耐久性」を両立させながら、環境負荷の小さい素材の選択肢を広げていきます。

## 3. 人権・コミュニティへの配慮

森林由来の素材は、先住民族や地域コミュニティの土地・文化とも深く結びついています。

東京ソワールは、サプライヤーに対して、世界人権宣言を含む国際的な人権基準の尊重とともに、先住民族および地域コミュニティの土地・資源に関する正当な権利を尊重することを求めます。

- 新たな伐採や植林にあたっては、自由意思に基づく事前の情報開示と同意（FPIC）の考え方を支持します。

- 苦情や紛争が発生した場合には、透明性と説明責任のあるプロセスでの解決をサプライヤーに求めます。

お客様の「大切な想いの、すぐそばに。」あるプロダクトが、誰かの暮らしや権利を犠牲にして成り立つことがないよう、サプライチェーン全体で人権尊重に取り組んでいきます。

## 4. 気候変動・水資源への配慮

森林は、気候変動の緩和や水循環の維持に不可欠な存在です。

東京ソワールは、木材・森林由来の素材調達を通じて、高炭素蓄積林の保全や温室効果ガス排出量の削減につながる取り組みを重視します。

- 高炭素蓄積林や水源涵養に重要な森林における伐採を避けるサプライヤーを優先するよう努めます。
- 製造工程におけるエネルギー効率の向上や再生可能エネルギーの活用など、温室効果ガス排出削減に積極的に取り組むサプライヤーを評価します。

日々の暮らしを彩るアイテムを通じて、未来の世代にとっても安心して暮らせる地球環境につながるよう、気候・水資源への影響を意識した調達を進めていきます。

## 5. 産業全体への働きかけと情報開示

森林を守る素材調達は、一社だけでは達成できません。

東京ソワールは、Canopyをはじめとする NGO やサプライヤー、同業他社との連携を通じて、古代林・絶滅危惧森林を守るソリューションの普及と、次世代素材の実用化をともに進めていきます。

本ポリシーは 2025 年に策定したものであり、社会情勢や技術動向などを踏まえ、必要に応じて見直しを行っていきます。

今後も、木材・森林由来の素材に関するポリシーや取り組み状況を、自社の事業実態に即しながら段階的に開示し、「大切な想いの、すぐそばに。」という企業メッセージのもと、お客様のライフスタイルとともに、豊かな森林を未来へつないでいくことを目指します。